

2025年度事業報告・会計報告 及び2026年度事業計画案・収支予算案

2026年4月24日

東京都品川区西五反田一丁目26番2号
五反田サンハイツ内

公益社団法人 日本分析化学会

2025 年度（令和 7 年度）事業報告書

（2025 年 3 月 1 日～2026 年 2 月 28 日）

会員の移動状況書

会員種別	員 数		増減数
	令和8年2月28日 現在	令和7年2月28日 現在	
名誉会員	53	51	2
永年会員	366	352	14
正会員	2,565	2,776	-211
シニア会員	165	112	53
教育会員	1	1	0
学生会員	586	539	47
ジュニア会員	31	14	17
維持会員	173.5	177.5	-4
特別会員	459	478	-19
公益会員	279	293	-14
計	4,678.5	4,938	-115

1. 第 14 回定時総会（定款第 17 条）

日時 2025 年 4 月 25 日（金）
場所 日本分析化学会 Web 会議方式 総社員数 114 名 出席者数 91 名

2. 会誌、研究報告および資料の刊行（定款第 5 条（1））

- ①学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行した。
- | 発行年月日 | 巻 号 | 発行部数 |
|------------------|--------|-------|
| 自 2025 年 3 月 5 日 | 2025 3 | 1,500 |
| 至 2026 年 2 月 5 日 | 2026 2 | 1,500 |
- 毎月 1 回 5 日に発行。すべての団体会員と個人会員の希望者には冊子体発行（約 1,500 部）。
- ②和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行した。
- | 発行年月日 | 巻 号 | 発行部数 |
|------------------|--------|-------|
| 自 2025 年 3 月 5 日 | 74 3 | 1,800 |
| 至 2026 年 1 月 5 日 | 75 1・2 | 1,800 |
- （1, 3, 4, 6, 7, 9, 10, 12 月 5 日発行）
- ③英文論文誌「Analytical Sciences」を Springer Nature 社から電子版にて、下記のとおり発行した。
- | 発行年月日 | 巻 号 |
|-------------------|------|
| 自 2025 年 3 月 10 日 | 41 3 |
| 至 2026 年 2 月 10 日 | 42 2 |
- 毎月 1 回 10 日に発行
すべての維持会員と、特別会員、公益会員および個人会員の希望者には冊子体発行（約 330 部）。
- ④学会、ぶんせき、分析化学、Anal. Sci. 4 種のメールマガジンを毎月 1 回発行した。ただし、「分析化学」誌は発行月のみ年 8 回。
- ⑤教育用 DVD ならびにビデオシリーズの頒布を行った。

3. 講演会、講習会および研究会の開催（定款第 5 条（2））

〔研究発表会〕

- ①第 85 回分析化学討論会
日時 2025 年 5 月 31 日・6 月 1 日
場所 現地開催（愛媛大学）講演数 364 件、参加者数 673 名
- ②第 74 年会
日時 2025 年 9 月 24 日～26 日
場所 現地開催（北海道大学）講演数 653 件、参加者数 1,191 名

4. 調査、研究および建議（定款第 5 条（3））

〔技能試験〕

- ①事業所を対象とした技能試験を次のとおり実施し、結果に基づく「技能試験成果報告書」を公開した。
- ・ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 27 回ダイオキシン類分析（ばいじん）」参加試験所：45
 - ・試験実施後、3 機関より 9 試料の追加要請有。
- ②今年度は日本分析化学会が協賛する KMTL エッジテックでの“規制物質の無機分析試験”は実施されなかった（報告なし）。

〔標準物質〕

新規標準物質は作製せず、これまで開発した各種標準物質の安定性試験と再認証を必要に応じて行い、社会への供給活動を継続する

〔関係団体との協力〕

- ①次の諸団体に参画し、種々の調査・建議に協力した。
- 日本学術会議、（一社）化学情報協会、標準物質協議会、ASIANALYSIS 国際諮問委員会、（一社）日本化学連合／化学系学協会連絡会、男女共同参画学協会連絡会
- ②次の委員会に委員を派遣して各種規格の立案などに協力した。
- （一社）日本化学工業協会、（一社）日本試験協会、（一社）日本環境測定分析協会、（一社）日本分析機器工業会

5. 研究の奨励および研究業績の表彰（定款第 5 条（4））

- ①2025 年度学会賞を次のとおり授与した。
- 川崎 英也 君「金属ナノ粒子を用いた質量分析法および金属ナノクラスターを用いた蛍光分析法の開発」
- 長谷川 浩 君「微量元素の化学種別分析法の開発と環境研究への応用」
- 前田 耕治 君「液液界面電気化学に立脚したバイオミメティック膜反応の創成と解析」
- ②2025 年度技術功績賞を次のとおり授与した。
- 辻田 明 君「血液中の微量無機ガス等の定量分析に関する研究」
- ③2025 年度奨励賞を次のとおり授与した。
- 石井 千晴 君「生体・食品に存在するキラルアミノ酸の高選択的分析法開発」
- 金尾 英佑 君「ナノ・マイクロ材料による新規分離場の開発とその応用」
- 眞塩麻彩実 君「海洋における白金族元素分析法の開発と分布・挙動に関する研究」
- 横山 悠子 君「電流－電位曲線の新規解析法の開発による電極反応の新たな解釈」
- ④2025 年度先端分析技術賞を次のとおり授与した。
- JAIMA 機器開発賞
- 松田 和大 君「二次イオン質量分析および機械学習を用いた生体試料の組成イメージング」
- 森川 悟 君 森川 剛 君 柳田 顕郎 君
松下美由紀 君 蛭田 多美 君 富岡 勝 君
福田 真人 君「多品目の薬物血中濃度を迅速簡便に定量するための医療従事者用 HPLC システムの製品開発と実用化」
- ⑤2025 年度女性 Analyst 賞を次のとおり授与した。
- 高野 恵里 君「生体・人工高分子を分子認識素子に用いるピペットチップセンシングプラットフォームの開発」
- 高橋 幸奈 君「高性能センシングデバイスを指向したプラズマモニタリングナノ粒子－光機能性材料複合系の開発」
- ⑥2025 年度有功賞を次のとおり授与した（敬称略）。
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 嶋田 真次 | 高橋 雅夫 | 向井 博幸 | 秋山 秀之 |
| 小林みどり | 中村 和義 | 深井 秋博 | 矢幡 雅人 |
| 野村 文子 | 浅見 尚義 | 高田 勝弘 | 大田 雅彦 |
| 名雪 三依 | 亀沢 和子 | 大杉 紳也 | 大貫 隆史 |
| 石川 和也 | 山内 利昭 | 上内 義雄 | 田島みよ子 |
| 金子 弘 | 跡部 健一 | 正和 阿川 | 智 |
| 大渡真由美 | 高野 香織 | 藤重 育夫 | 市来智恵子 |
| 秋元 千春 | 望月 高文 | 木原 裕子 | 森内 栄次 |
| 小野 直孝 | 村上 昌之 | 広地美恵子 | 松井 久美 |
| 畑中 聖子 | 柴田 靖子 | 榎本ゆり子 | 澤野 勝丈 |
| 宮坂 佳彦 | 笹谷 嘉一 | 山内 康之 | 白川 和美 |

舟木 夏彦 早川 昌子

⑦2024年「分析化学」論文賞を次のとおり授与した。

石井 千晴 君 古賀 夢美 君 藤井 暁 君

秋田 健行 君 三田 真史 君 長野 正信 君

浜瀬 健司 君「メーテル長高分離能光学分割カラムを用いる食酢中アラニン及びセリン鏡像異性体の分析」

柳澤 華代 君 横田 裕海 君 藤本 勝成 君

高貝 慶隆 君「罰則項付き非対称最小二乗法によるオンライン同位体希釈レーザーアブレーション誘導結合プラズマ質量分析のフロービーク検出」

⑧他機関による表彰および研究助成に対し会員を候補者として推薦した。

6. 人材の育成および教育（定款第5条（5））

分析化学討論会・年会時や分析イノベーションフォーラムにおいて高校生ポスター募集を推進、また交付金を配布し若手交流会へ支援を行った。

7. その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第5条（6））

〔広報〕

広報委員会展望とトピックス小委員会において、分析化学討論会および年会研究発表の中で注目される研究内容を、小冊子「展望とトピックス」にまとめて発行し、ホームページを通し、また、報道機関の記者に同資料を配付して広報した。ホームページを通じて、本会から会員への情報提供、会員相互のコミュニケーション促進を図った。

〔若手交流会〕

年会討論会において若手ポスター賞選考を支援し、各支部での若手交流会企画と支部同士の情報交換を支援し、各支部に助成を行った。

〔研究懇談会〕

研究懇談会活動を次のように行った。

①有機微量分析研究懇談会

【委員長：長井賢一郎（北里大学）、委員10名、会員数152名（個人会員146名、顧問6名）】第92回有機微量分析研究懇談会、第128回計測自動制御学会力学量計測部会、第42回合同シンポジウムを6月19日・20日に東京都港区（北里大学薬学部）で開催（計測自動制御学会力学量計測部会と共催、日本分析化学会、日本化学会、日本薬学会協賛）した。その内訳は特別講演2件、口頭発表12件、ポスター発表15件、パネルディスカッション、企業プレゼンテーション、技術研修会である。講演会（第74年会9月25日、北海道大学、招待講演1件）を開催し、同日、第一回委員会（対面＋オンラインのハイブリッド形式）を開催した。標準試料検定小委員会において標準試料の検定作業を行った。また、会報27号を発行（2月）した。

②ガスクロマトグラフィー研究懇談会

【委員長：杉田和俊（麻布大学）、運営委員43人、会員数98名（個人会員45名、団体会員39機関、名誉会員14名）】運営委員会は研究会開催時に対面で4回開催した。研究会（見学会を含む）は6回（第390回～第395回）実施し、第74年会では元旭川医科大学の阿久津弘明先生に講演していただいた。ガスクロマトグラフィー研究懇談会特別講演会では「匂い・香り分析」をテーマに主題講演3題、技術講演6題の講演を行った。見学会では、日本生協連合・商品検査センター（蔵市）にお邪魔し、匂い嗅ぎGCを用いた異臭測定など生協連合の取り組みなど紹介していただいた。その他、11月に中国福建省にて6年ぶりに開催された日中韓分析シンポジウムに参加した。

③高分子分析研究懇談会

【委員長：本多貴之（明治大学）、運営委員18名、企画委員7名、会員数170名（個人会員68名、法人会員102社）】開催数：運営委員会7回、企画委員会3回、例会5回（第424回～428回；4月18日、6月27日・28日、10月24日、12月19日、2月16日）、第74年会における研究懇談会講演（9月26日、北海道大学）、第66回高分子分析技術講習会（応用編）（3月1日・2日、オンライン）、第70回高分子分析技術講習

会（実践編）（3月10日・11日、明治大学／オンライン）、第71回高分子分析技術講習会（基礎編）（9月8日・9日、明治大学／オンライン）、第72回高分子分析技術講習会（実践編）（2月26日・27日、明治大学／オンライン）、第30回高分子分析討論会（11月19日・20日、明治大学）をそれぞれ開催した。

④X線分析研究懇談会

【委員長：佐藤成男（茨城大学）運営委員31名、参与8名、会員数126名（個人会員108名、団体会員18名）】開催数：例会2回（第283回・284回）、運営委員会2回。「X線分析の進歩」第56集をアグネ技術センターより出版したほか、J-STAGEに第54集を掲載した。第61回X線分析討論会（10月30日・31日、水戸市民会館にて開催、167名）を主催した。X線分析討論会において第19回浅田栄一賞を川本大祐氏（岡山理科大学）に、第2回「X線分析の進歩」論文賞を豆崎実夢氏（兵庫県立大学）、松田渉氏（株式会社リガク）に授与した。また、X線分析討論会の口頭発表、ポスター発表に対し、5件の学生奨励賞を選考し授与した。

⑤分析試薬研究懇談会

【委員長：壹岐伸彦（東北大学）、運営委員会委員16名、参与委員15名、会員数100名（個人会員98名、賛助会員2名）】開催数：1回。第74年会において、分析試薬研究懇談会（9月24日、講演1件）を開催した。第19回大環状分子および超分子化学国際会議（ロームシアター、京都・みやこめっせ、5月25日～30日）を協賛した。

⑥液体クロマトグラフィー研究懇談会

【委員長：中村 洋（東京理科大学）、役員会役員の数：29名、会員数：182（個人会委員：133名、団体会員：49社）】研究懇談会の第405回から第416回の例会（講演会：13時～17時、その後に情報交換会2時間）を対面形式で合計12回実施した。LC研究懇談会講習会「HPLC & LC/MS 講習会2025」（島津製作所殿町事業所など、2025年7月30日～8月1日）、LC- & LC/MS-DAYS 2025（東レ総合訓練センター、2025年12月4日・5日）、第4回LCシニアクラブ（東レ総合訓練センター、2025年12月5日・6日、LC懇後援）、第31回LC & LC/MSテクノプラザ（北とびあ、2026年2月18日・19日）を主催した。電子ジャーナル『LCとLC/MSの知恵』の第10号（2025年6月15日発行）、第11号（2025年12月15日発行）をホームページに掲載した。『第5回LC/MS分析士二段試験解説書』（2025年2月20日発行）、『第5回LC/MS分析士三段試験解説書』（2025年10月31日発行）、を（株）双文社印刷より発行しシリーズ30冊の発行を完了した。また、LC/MS四段を除く下記9種類の日本分析化学会・分析士認証試験を対面形式で実施した：LC初段、LC二段、LC三段、LC四段、LC五段、LC/MS初段、LC/MS二段、LC/MS三段、LC/MS五段。さらに、第85回分析化学討論会（愛媛大学城北キャンパス）の初日（2025年5月31日）開催された第23回生涯分析談話会、ならびに第74年会（北大工学部）の前日（2025年9月23日）夕刻に開催された第24回記念生涯分析談話会をそれぞれ後援した。

⑦化学センサー研究懇談会

【委員長：久本秀明（大阪公立大学）、会員数45名（個人会員45名）】今年度（2025年度）の主要活動：第74年会（札幌）にて、化学センサー研究懇談会講演を実施。今年度は国際会議同時開催で多忙だったため、懇談会委員会は休会とした。

⑧電気泳動分析研究懇談会

【委員長：北川慎也（名古屋工業大学）、顧問7名、常任委員6名、委員32名】第74年会において研究懇談会講演（「医療貢献を目指した分析化学」加藤 大先生（昭和医大））を行った（9月14日、北大）。第45回キャピラリー電気泳動シンポジウム（SCE2025、12月、昭和医大）を共催した。また、研究懇談会委員会を行った。

⑨イオンクロマトグラフィー研究懇談会

【委員長：森 勝伸（高知大学理工学部）、運営委員会委員21名、会員数76名（個人会員69名、維持会員6社、団体会員1社）】今年度（2025年度）の主要活動：2025年9月13日運営委員会、2025年11月14日学会開催：第39回イオンクロマトグラフィー討論会／第61回フローインジェクション分析講演会 合同大会@熊本、IC分析士開催（初段・三段）

⑩フローインジェクション分析研究懇談会

【委員長：大平慎一（熊本大学）、運営委員会委員 26 名、会員数 118 名（個人会員 101 名、賛助会員 9 社、特別賛助会員 8 社）】6 月および 12 月（予定）に、論文誌「Journal of Flow Injection Analysis」を発行した。また、11 月 14 日は、IC 懇談会と合同で、講演会を熊本にて開催した。加えて、昨年度から本格的に実施している学生へのトラベルサポートを実施した。2026 年に熊本にて開催する国際会議（International conference on Flow Injection Analysis and related techniques）について、実行委員会の開催ならびに Flow analysis（タイ）における広報を実施した。

⑪環境分析研究懇談会

【委員長：梅村知也（東京薬科大学）、運営委員 8 名、顧問 7 名、会員数 73 名（個人会員 70 名、グループ会員 3 名）】5 月 27 日に日本学術会議講堂にて開催された第 37 回環境工学連合講演会の実行委員として運営の一端を担った。第 74 年において、環境分析研究懇談会講演会（9 月 25 日、北大、講演 1 件）を開催した。また、同日に運営委員会も開催して会員拡充と今後の活動について議論した。

⑫表示・起源分析技術研究懇談会

【委員長：中野明正（千葉大学園芸学研究院）、運営委員会委員 15 名、参予 4 名（個人会員 41 名、団体会員 10 社）】9 月 9 日に第 31 回講演会（東京電機大学）を、2 月 16 日に第 32 回講演会（東京電機大学）をフード・フォーラム・つくばとの合同で、対面にて開催した。運営委員会は 6 月にメール会議にて、2 月にオンラインにて、計 2 回開催した。

⑬化学分析技能研究懇談会

【委員長：上本道久（明星大学）、会計担当：上原伸夫（宇都宮大学）、会員数 17 名（個人会員 16 名、団体会員 1 名）】当研究懇談会のニューズレターを年 3 回程度発行している。化学分析に関するさまざまなトピックスや現場の課題などの寄稿を受けて現在第 5 号（26 年 1 月）まで進展し、会員に送付してホームページにも掲載している。第 74 年会で公開シンポジウム「分析化学における信頼性確保のための取り組み」を開催し、5 件の発表を行った。同日運営委員会を開催して会員拡充と今後の活動について議論した。懇談会講演の資料を会員に配布して化学分析情報の普及を図っている。

⑭熱分析研究懇談会

【委員長：西本右子（神奈川大学）、運営委員会委員 9 名、個人会員 19 名、団体会員 8 社】2026 年度 5 月開催予定の討論会の準備のための運営委員会（実行委員長 鈴木）を 2 回開催。神奈川大学総理研主催、第 2 回先端機器分析セミナー、共催（2026 年 1 月 29 日）。

⑮溶液反応化学研究懇談会

【委員長：梅林泰宏（新潟大学）、運営委員会委員 18 名、会員数 18 名（個人会員 18 名、賛助会員 0 名）】9 月 24 日の第 74 年会（北海道大学）で、講演会および運営委員会を開催した。

⑯電気分析化学研究懇談会

【委員長：安川智之（兵庫県立大学）、運営委員会委員 44 名】愛媛大学で開催された第 85 回分析化学討論会では討論主題の公募がなかったため主題討論を実施しなかった。また、北海道大学で開催された第 74 年会では、西野智昭氏（東京科学大学）の依頼講演を実施し活発な質疑が行われた。また、現地で運営委員会を開催した。ここで、新規運営委員として 5 名（学術関係 3 名、企業関係 2 名）の推薦があった。運営委員会後、推薦された 5 名の方に連絡し運営委員のご担当を快諾いただいた。次年度の第 86 回分析化学討論会（久留米）では討論主題の公募がないため、第 75 年会（東北大学）での依頼講演について議論した。

⑰ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会

【委員長：渡慶次学（北海道大学）、副委員長：火原彰秀（東北大学）、会員数：約 30 名（個人会員のみのみ）】第 74 年会にて、ナノ・マイクロ分析化学研究懇談会講演を開催した。広島大学 石坂昌司教授による「光ピンセットで雲粒をつまんで気候変動を予測する」（2025 年 9 月 26 日 3I05-05 座長坪井泰之教授）で、ナノ・マイクロ分析化学の最前線について議論した。

⑱バイオ分析化学研究懇談会

【委員長：佐藤守俊（東京大学）、運営委員会委員 11 名、顧問 3 名、会員数 15 名（個人会員 15 名、賛助会員 0 名）】第 13 回 Chem-Bio Joint Seminar@つくばを研究懇談会役員メンバーで立ち上げる別組織の主催行事として 8 月 30 日・31 日に開催した。さらに、第 74 年会会期中（9 月 26 日）に運営委員会を開催し、運営方針や運営委員の退任・追加、今後の活動などを話し合った。

⑲スクリーニング分析研究懇談会

【委員長：津越敬寿（産業技術総合研究所）、運営委員会委員 9 名、会員数 14 名（個人会員 11 人、団体会員 3 人）】第 74 年会（北海道大学）において、9 月 24 日に第 11 回講演会を開催した。12 月 19 日には午前午後の 2 部構成として、午前のオムロン京都太陽㈱の工場見学、午後にオムロン㈱・コミュニケーションプラザにおいて第 12 回講演会を開催した。また、第 12 回講演会に先立って一般参加者も交えての運営委員会を開催し、今後の運営方針や来期の活動内容について意見交換を行った。

〔支部〕

支部活動を次のように行った。

【北海道支部】

①役員の選任

支 部 長	坂入 正敏		
副支部長	(木村)須田廣美	南 尚嗣	
参 与	伊藤 慎二	伊藤八十男	片山 則昭
菅 正彦	齋藤 健	齋藤 徹	神 和夫
高橋 一樹	高橋 英明	田中 俊逸	長谷部 清
森田みゆき	横沢 龍朗		
監 事	渡慶次 学	蛸崎 悌司	
庶務幹事	佐藤 久	谷 博文	
会計幹事	真栄城正寿	山田 幸司	
幹 事	青柳 直樹	池田 敦子	石田 晃彦
今枝 佳祐	上野 貢生	宇都 正幸	大木 淳之
大津 直史	岡 征子	奥田 弥生	川口 俊一
伊藤 英博	小寺 史浩	堺井 亮介	佐々木隆浩
真田 哲也	高瀬 舞	高橋 徹	田原るり子
千葉 真弘	徳光 藍	富田 恵一	中田 耕
中谷 暢丈	中屋 佑紀	西村 一彦	沼田ゆかり
松井 宏之	三浦 篤志	三原 義広	村井 毅
諸角 達也	吉村 昭毅	龍崎 奏	若杉 郷臣

②研究発表会

- 1) 夏季研究発表会（共催）：7 月 19 日（土）苫小牧高等専門学校（苫小牧市）で開催、一般講演 55 件、特別講演 2 件（参加者 114 名）。また懇親会を行った（25 名）。
- 2) 第 74 年会：9 月 24 日（火）から 26 日（金）北海道大学工学部で開催に実行委員として。
- 3) 化学教育研究協議会（共催）：11 月 15 日（土）北海道教育大学札幌駅前サテライト（札幌）と WEB のハイブリッドで開催。特別講演 1 件「教員養成の現場から見る小中高化学分野の系統性と求められる資質」、小中高大学における化学教育の実践に関する講演 4 件と地涌討論を行った。（参加者 49 名）、また、懇親会を行った（24 名）。
- 4) 冬季研究発表会（共催）：1 月 20 日（火）・21 日（水）、北海道大学学術交流会館（札幌）で開催。研究発表（124 件、特別講演 2 件、口頭発表 64 件、ポスター発表 58 件）と学生の口頭発表とポスター発表に最優秀/優秀講演賞の表彰を行った。

③講演会・セミナー

- 1) 第 41 回緑陰セミナー：7 月 20 日（日）・21 日（月）、ほろしん温泉ほたる館（沼田町）と WEB、招待講演 4 件（1 件 WEB 講演）、学生によるポスター発表 16 件、グループワークを行った。
- 2) 公開セミナー：12 月 23 日（火）、北海道大学工学部材料化学棟 MC030 教室（札幌）、招待講演 1 件、参加者 25 名。
- 3) 第 61 回氷雪セミナー：2026 年 1 月 10 日（土）・11 日（日）、湯元ホテル山水（大空町）と WEB のハイブリッド、特別講演 4 件を行った。参加者 20 名、懇親会も行った。
- 4) 第 9 回北海道大学微小部・表面分析研究ユーザーズミーティング、5 月 22 日（木）、北海道大学フロンティア応用化学研究棟に協賛した。

- ④交流事業：第 41 回緑陰セミナーにおいて、満塩勝先生（鹿児島大学、九州支部）に講演していただいた。
- ⑤支部ニュースの発行；第 71 号と第 72 号を発行した。
- ⑥北海道支部各賞の授賞式と受賞講演会：2026 年 2 月 27 日（金）、北海道大学工学部（札幌）と WEB のハイブリッドで、2025 年北海道分析化学各賞（分析化学賞 1 名、分析化学功労賞 4 名）の授賞式と分析化学賞受賞講演会（1 件）を行った。

【東北支部】

①役員の選任

支 部 長	珠玖 仁		
副支部長	高貝 慶隆	沼田 靖	
参 与	秋葉 健一	大関 邦夫	大類 洋
尾形 健明	荻野 博	長 哲郎	後藤 順一
斎藤 紘一	佐藤 允美	糠塚いそし	星野 仁
末永 智一	山崎 慎一	四ツ柳隆夫	
監 事	藤村 務	大江 知行	
庶務幹事	伊野 浩介		
会計幹事	長峯 邦明		
幹 事	赤坂 和昭	壹岐 伸彦	石川大太郎
伊藤 徹二	井上 賢一	岩田 吉弘	大崎 脩仁
遠藤 昌敏	大橋 弘範	小川 信明	押手 茂克
尾高 雅文	加藤 健	上條 利夫	唐島龍之介
菊池美保子	北川 文彦	熊谷 将吾	斎藤昇太郎
佐藤 勝彦	佐藤 健二	佐藤 雄介	猿渡 英之
澤村 瞭太	志村 清仁	杉山 将司	田副 博文
多田 美香	寺前 紀夫	照井 教文	仲川 清隆
西澤 精一	野原 幸男	橋本 隆光	幡川 祐資
比嘉 勝孝	平野 愛弓	平山 和雄	福山 真央
松枝 誠	三浦 拓也	松村 洋寿	眞野 成康
盛田 伸一	山田 理恵	李 宣和	和久井喜人
渡辺 壱	渡辺 健一	渡辺 忠一	

②研究発表会

令和 7 年度化学系学協会東北大会（共催）（主催：日本化学会東北支部）：9 月 6 日・7 日に開催され（会場：山形大学米沢キャンパス）、分析化学・環境化学セッションでは、招待講演 2 件、依頼講演 1 件が行われた。

③講演会・セミナー

- 1) 分離機能とセンシング機能の化学セミナー（主催）：3 月 23 日に開催し（会場：東北大学総合研究棟）、特別講演 3 件が行われた（参加者 31 名）。
- 2) 第 42 回無機・分析化学コロキウム（共催）：5 月 16 日・17 日に開催し（会場：未来学舎 KIBOTCHA）、招待講演 4 件、依頼講演 7 件が行われた（参加者 105 名）。
- 3) 令和 7 年度東日本分析化学若手交流会（主催）：7 月 11 日・12 日に開催し（会場：フォレストリゾート コニファーいわびつ）、特別講演 1 件、招待講演 2 件、学生依頼講演 3 件、会長講話、ポスター発表 28 件が行われた（参加者 51 名）。また、優秀ポスター賞 3 件を授与した。
- 4) みちのく分析科学シンポジウム（主催）：7 月 19 日に開催し（会場：東北大学総合研究棟）、依頼講演 3 件、若手ポスター発表 36 件が行われた（参加者 69 名）。また、優秀ポスター発表 6 件に対して、フロンティア・ラボ賞を授与した。
- 5) いわて分析技術セミナー（後援）：10 月 31 日に開催し（岩手県工業技術センター）、講演 6 件が行われた（参加者 46 名）。
- 6) 東北支部各賞受賞講演会（主催）：12 月 13 日、東北分析化学奨励賞の授賞式と受賞講演会を開催した（会場：東北大学総合研究棟）。東北分析化学奨励賞：宇田川喜信君（東北大）、丹治珠緒君（福島大）、幡川祐資君（東北大）。

④助成

支部助成金を 3 件採択した。

【関東支部】

①役員の選任

支 部 長	菅原 一晴		
次期支部長	平山 直紀		
副支部長	上野 祐子	梅林 泰宏	敷野 修
島田亜佐子			
参 与	梅澤 喜夫	大橋弘三郎	岡田 哲男

小熊 幸一	金澤 秀子	楠 文代	合志 陽一
澤田 清	四宮 一総	渋川 雅美	杉谷 嘉則
鈴木 康志	高田 芳矩	高村喜代子	田中 龍彦
津越 敬寿	角田 欣一	中込 和哉	中村 洋
二瓶 好正	丹羽 修	早下 隆士	平井 昭司
藤浪 眞紀	保母 敏行	本田 俊哉	前田 瑞夫
宮村 一夫	望月 直樹	安田 純子	矢野 良子
山崎 素直	山根 兵	山本 博之	
菅沼 こと	津越 敬寿		
青木 寛	板橋 大輔	稲川 有徳	
梅村 知也	岡村 浩之	勝又 啓一	
東海林 敦	高橋由紀子	高橋 豊	
中村 圭介	西垣 敦子	西山 徹男	
林 英男	古庄 義明	南 豪	
由井 宏治			
桑原 直子	齋藤凜太郎	鈴木 悠希	
半田友衣子	森田耕太郎	吉川ひとみ	

②セミナー・講習会

- 1) 第 46 回分析化学基礎セミナー（無機分析編）－現場技術者の分析技術の基礎習得に向けて－（7 月 7 日・8 日、オンライン（講演者 11 名、受講者 25 名）
- 2) 第 47 回分析化学基礎セミナー（無機分析編）－現場技術者の分析技術の基礎習得に向けて－（11 月 10 日・11 日、オンライン（講演者 11 名、受講者 10 名）
- 3) 第 15 回分析化学の基礎と安全セミナー（2 月 6 日、オンライン 講演者 7 名、受講者 13 名）
- 4) 第 36 回分析化学基礎実習（1 月 29 日・30 日、東京理科大学神楽坂キャンパス、講師 4 名、受講者：13 名）

③講演会

- 1) 分析イノベーション交流会「ものづくり技術交流会 2025 in 中国四国」（5 月 31 日、愛媛大学城北キャンパス、参加人数：のべ 110 名）
- 2) JASIS コラボレーション「交流の輪を広げる分析イノベーションフォーラム 2025」（9 月 5 日、幕張メッセ国際会議場 201 会議室、参加人数：のべ 40 名）
- 3) 分析イノベーション交流会「ものづくり技術交流会 2025 in 北海道」（9 月 25 日、北海道大学札幌キャンパス、参加人数：のべ 80 名）
- 4) 分析イノベーション交流会（2 月 12 日・13 日、東京大学生産技術研究所、参加人数：のべ 120 名）
- 5) 新世紀賞・新世紀新人賞授賞式及び講演会（1 月 19 日、中央大後楽園キャンパス、参加人数：23 名、うちオンライン 2 名）新世紀賞：青木 寛氏（産業技術総合研究所環境創生研究部門）新世紀新人賞：鈴木陽太氏（埼玉大学大学院理工学研究科）
- 6) 第 38 回新潟地区部会研究発表会（10 月 31 日、新潟大五十嵐キャンパス、参加人数 47 名（学生 25 名））
- 7) 第 6 回群馬・栃木地区分析技術交流会（11 月 28 日、宇都宮大学陽東キャンパス、参加人数：22 名（うちオンライン 4 名））
- 8) 第 20 回茨城地区分析技術交流会（12 月 5 日、水戸市民会館（水戸市）、参加人数：165 名）
- 9) 東日本分析化学若手交流会（7 月 11 日・12 日、フォレストリゾートコニファーいわびつ（群馬）、参加人数：51 名（うち学生 31 名））

- ④関東支部ニュース（Vol. 35 版）を発行し、ホームページの更新。

【中部支部】

①役員の選任

支 部 長	巽 広輔		
次期支部長	高田 主岳		
副支部長	加賀谷重浩	加藤 亮	
顧 問	板谷 芳京	一ノ木 進	井村 久則
上田 一正	太田 清久	小谷 明	北川 邦行
酒井 忠雄	佐々木与志実	鈴木 正巳	田口 茂
柘植 新	津田 孝雄	寺田喜久雄	永長 幸雄
中田 隆二	中村 俊夫	野村 俊明	早川 和一
樋上 照男	平出 正孝	舟橋 重信	三輪 智夫
山田 真吉	山寺 秀雄	湯地 昭夫	

参 与	宇野 文二	竹内 豊英	田中 智一
遠田 浩司	波多 宣宏	服部 敏明	馬場 嘉信
監 事	江坂 幸宏	倉光 英樹	
庶務幹事	高橋 史樹	飯國 良規	
会計幹事	植松 宏平	村上 博哉	
常任幹事	石田 康行	太田 一徳	小川 数馬
甲斐 穂高	菅野 憲	金 継業	栗原 誠
村上 博哉	山本 拓平	湯川 博	
幹 事	伊神 裕善	石松 亮一	伊藤 雅章
大阪 一生	奥山 修司	香川 信之	勝又 英之
金子 聡	儀賀 義勝	北川 慎也	北出 和久
木全 良典	坂江 広基	佐澤 和人	柴田 信行
鈴木 保任	高山 勝己	高山 信幸	立石 一希
轟木堅一郎	丹羽 敏之	濱地 清市	古川 真衣
松宮 弘明	三添 英明	宗兼 将之	森 敦
山腰 亮子	リムリーワ		

②講演会

- 1) 愛知地区講演会：7月2日，中部大学で開催，講演2件を行った（参加者79名）。
- 2) 北陸地区講演会：7月18日，富山大学で開催，講演3件を行った（参加者63名）。
- 3) 長野地区講演会：11月18日，信州大学で開催，講演2件を行った（参加者55名）。

③セミナー

- 1) 第42回分析化学中部夏期セミナー：9月1日・2日，御殿場高原時之栖で開催，招待講演2件，ポスドク・ブレドク依頼講演2件，新製品紹介講演3件，ポスター発表51件を行った（参加者84名）。
- 2) 「分析中部・ゆめ21」若手交流会第25回高山フォーラム：10月31日・11月1日，飛騨・世界生活文化センターおよび御宿四反田で開催，口頭講演7件，研究室紹介，ポスター講演34件を行った（参加者51名）。

【近畿支部】

①役員の選任

支 部 長	森内 隆代		
次期支部長			
副支部長	久本 秀明	椎木 弘	
庶務幹事	岡本 行広	壺井 基裕	
会計幹事	山口 敬子	北山 紗織	
参 与	荒川 隆一	池田 篤治	大堺 利行
大塚 浩二	尾崎 幸洋	垣内 隆	加納 健司
木原 壯林	木村 恵一	木村 優	紀本 岳志
小島 次雄	佐伯 正夫	澁谷 康彦	田中 稔
谷口 一雄	千熊 正彦	寺部 茂	中原 武利
萩 淳	藤田 芳一	藤原 英明	松下 隆之
村松 康司	八尾 俊男	横井 邦彦	渡會 仁
常任幹事	内山 兼一	奥田 浩子	北隅 優希
金尾 英佑	久保 拓也	河野 七瀬	駒谷慎太郎
初 雪	諏訪 雅頼	外間 進悟	坪井 泰之
夏原 正仁	西尾 友志	平原 将也	菱田 尚子
藤田 昌司			
幹 事	青山 佳弘	浅川 大地	飯田 琢也
石切山一彦	石濱 泰	磯尾賢太郎	伊藤 滋之
河野 慎一	上田 啓太	植田 正人	遠藤 達郎
高木 一好	小山 宗孝	糟野 潤	門 晋平
川上奈津子	川崎 英也	川田 武史	河野 慎一
川元 達彦	木村 敦臣	久保埜公二	倉内 奈美
桑本 恵子	小池 亮	小島 順子	小林 宏資
斉藤 秀章	坂根 健太	佐々木隆之	作花 哲夫
下条晃司郎	下山 昌彦	許 岩	白井 理
杉原 崇康	杉山 彩代	杉山 雅人	鈴江 崇彦
鈴木 哲	鈴木 雅登	瀬戸 康雄	宗林 由樹
宋和 慶盛	高木 一好	高木 達也	高野祥太郎
高橋 弘樹	武上 茂彦	竹田さほり	田中 悟
谷田 肇	谷水 雅治	茶山 健二	塚越 一彦
塚原 聡	塚本 効司	辻 幸一	辻 皓平
角井 伸次	津村ゆかり	天満 敬	土井 光暢
床波 志保	鳥羽真由子	豊田 岐聡	永井 秀典
中口 譲	中澤 隆	中島 陽一	中田 靖

中原 佳夫	中村 稔雅	西 直哉	野田 達夫
萩森 政頼	橋田紳乃介	長谷川 健	張野 宏也
東 昇	藤居 義和	藤嶽 暢英	藤森 啓一
藤原 学	布施 泰朗	堀田 弘樹	細矢 憲
堀山志朱代	本間 秀和	堀田 耕治	牧 輝弥
松崎 英樹	松田 景子	松本 明弘	丸尾 雅啓
三木功次郎	三戸彩絵子	宮道 隆	向井 浩
村上 正裕	森澤 勇介	森田 成昭	八木 正浩
矢嶋 摂子	安井 裕之	安川 智之	山垣 亮
大和 誠司	山根 常幸	山本佐知雄	山本 茂樹
山本 雅博	横山 悠子	吉田 将己	吉田 裕美
渡邊 誠也			

②講演会

- 1) 第20回近畿分析技術研究奨励賞表彰式・受賞講演会：3月14日，対面とオンラインのハイブリッド開催，表彰・受賞講演1件を行った。
- 2) 第1回支部講演会：4月18日，対面とオンラインのハイブリッド開催，講演2件を行った。
- 3) 第2回支部講演会：7月25日，対面とオンラインのハイブリッド開催，講演1件を行った。
- 4) 第3回支部講演会：12月12日，対面とオンラインのハイブリッド開催，講演2件を行った。

③講習会

- 1) ぶんせき講習会・基礎編その1：5月23日，大阪公立大学I-site なんばにて対面で開催，講義と講習を行った（受講者63名）。
- 2) ぶんせき講習会・基礎編その2：7月8日，堀場テクノサービス新本社ビルで開催，講義と実習を行った（受講者35名）。
- 3) ぶんせき講習会・実践編：7月31日，シスメックス株式会社テクノパークイーストサイトで開催，講義と実習を行った（受講者18名）。

④セミナー

- 1) 第1回提案公募型セミナー：6月12日に(地独)大阪産業技術研究所にて開催（参加者8名）。
- 2) 第2回提案公募型セミナー：9月29日に兵庫県立大学高度産業科学技術研究所にて対面開催（参加者30名）。
- 3) 第3回提案公募型セミナー：11月14日に大阪公立大学理学部（杉本キャンパス）にて対面開催。
- 4) 第19回近畿支部若手夏季セミナー「ぶんせき秘帖巻ノ拾九」：8月4日から5日にかけて堀場製作所朽木研修センターにて開催（参加者70名）。

⑤支部ニュース

ぶんきんニュース第59号を発行。

⑥10年間中断していた近畿分析技術研究国際交流助成制度を復活し，2名の大学院生および1名の助教に支援を行った。

【中国四国支部】

①役員の選任

支 部 長	高柳 俊夫		
次期支部長	竹田 一彦		
副支部長	林 徹太郎		
支部参与	伊藤 一明	今井 嘉彦	岩知道 正
奥村 稔	木ト 光夫	熊丸 尚宏	善木 道雄
田頭 昭二	竹味 弘勝	中野 恵文	平田 静子
廣川 健	藤原 照文	北條 正司	真鍋 敬
本仲 純子	本水 昌二	森田 秀芳	山崎 恒博
支部監事	小園 修治	中山 雅晴	
庶務幹事	小崎 大輔	竹内 政樹	
会計幹事	浅岡 聡		
常任幹事	朝日 剛	安達 健太	安東 博幸
石坂 昌司	今井 昭二	上田 忠治	上田 真史
金田 隆	紙谷 浩之	北出 哲朗	北山 宏三
座古 保	高田 智明	田中 秀治	津村 徹
西 博行	原 哲也	平岡 章二	藤井 健太
藤田 勉	水口 仁志	勝伸 稔	森本 稔
柳川 敏治	藪谷 智規	横山 崇	吉村 友宏
支部幹事	浅野 比	井上 裕文	片岡 洋行
荻部 甚一	川村 邦男	小松原恒生	島崎 洋次
菅原 庄吾	砂山 博文	武安 伸幸	寺川 敦哉
永阪 文惣	西本 潤	西脇 芳典	樋口 浩一

藤原 勇	淵脇 雄介	松原 弘樹	宮本 和英
門木 秀幸	山下 浩	山本 敦史	山本 孝
山本 剛	和田 光弘		

②研究発表会

- 1) プラズマ分光分析研究会第 125 回講演会（共催）：5 月 30 日，松山市総合コミュニティセンターにて開催，受賞講演を含む講演 7 件を行った（参加者数 76 名）。
- 2) 第 76 回日本電気泳動学会学術大会（共催）：10 月 25 日・26 日，愛媛大学南加記念ホールおよび校友会館にて開催，講演 39 件を行った（参加者数 103 名）。
- 3) 2025 年日本化学会中国四国支部大会香川大会（共催）：11 月 23 日・24 日，徳島文理大学高松駅キャンパスにて開催，316 件の講演が行われた（参加者数 576 名）。
- 4) 日本腐食物質学会第 41 回講演会（協賛）：10 月 25 日・26 日，岡山理科大学 50 周年記念館にて開催，講演 40 件が行われた（参加者数 86 名）。
- 5) 国際公開シンポジウム「脂質生化学研究の現在地へ健康、疾患、分析手法」（協賛）：1 月 26 日，徳島大学蔵本キャンパス長井記念ホールにて開催，講演 5 件が行われた（参加者数 55 名）。

③講演会

- 1) 中国四国支部分析化学講演会：11 月 28 日，第一セントラルビル 1 号館（岡山市）にて開催し，講演 4 件を行った（参加者数 29 名）。
- 2) 広島地区講演会：5 月 16 日，広島大学東広島キャンパスミライクリエ大会議室で講演 2 件を行った（参加者数 25 名）。
- 3) 山陽小野田・宇部地区講演会：12 月 26 日，山陽小野田市立山口東京理科大学 5 号館にて開催，講演 3 件を行った（参加者数 23 名）。
- 4) 第 27 回徳島地区分析技術セミナー（徳島化学工学懇話会と共催）：1 月 9 日，徳島大学工業会館メモリアルホールにて開催，講演 2 件と研究発表 2 件を行った（参加者数 42 名）。
- 5) 鳥取地区講演会：11 月 21 日，鳥取環境大学まちなかキャンパスにて開催，講演 3 件を行った（参加者数 23 名）。

④セミナー

- 1) 第 31 回中国四国支部分析化学若手セミナー：6 月 21 日，岡山大学薬学部にて対面とオンラインのハイブリッド開催，特別講演 2 件，一般講演 7 件，ポスター講演 21 件を行った（参加者数 62 名）。

【九州支部】

①役員の選任

支 部 長	井倉 則之		
次期支部長	吉田 秀幸		
副支部長	廣沢 一郎	児玉谷 仁	
参 与	石黒 慎一	今坂藤太郎	今任 稔彦
岩崎 正武	鎌田 薩男	河津 博文	喜納 兼勇
黒木 広明	合屋周次郎	財津 潔	下田 満哉
城 昭典	高館 明	谷口 功	田端 正明
出口 俊雄	中島憲一郎	中村 博	肥後 盛秀
増田 義人	松本 清	山口 敏男	山口 政俊
山田 淳	横山 拓史	吉村 和久	脇田 久伸
監 査	加地 範匡	宮崎真佐也	
庶務幹事	椿 俊太郎		
会計幹事	矢代民美子		
常任幹事	大島 達也	佐藤しのぶ	佐藤 博
田中 充	戸田 敬	浜瀬 健司	野間 誠司
原田 明	藤ヶ谷剛彦	松尾 隆司	松森 信明
満塩 勝	吉田 秀幸		
幹 事	浅田 泰	新垣 雄光	石井 千晴
石岡 寿雄	石川 洋哉	伊藤 圭亮	稲田 幹
伊藤 圭亮	井上 高教	井原 敏博	上原 雅人
宇都宮 聡	梅木 辰也	江藤真由美	王子田彰夫
大渡 啓介	大庭 義史	大平 慎一	恩田 健
片山 佳樹	勝田 陽介	加藤 祐子	梶島 力
梶島 正美	上畑桂太郎	川井 隆之	川上 健次
川畑 明	神崎 亮	岸川 直哉	北島 利雄
北村 裕介	木下 将和	栗崎 敏	栗原 龍

黒田 直敬	呉 行正	財津 慎一	笹木 圭子
佐藤 正雄	佐藤 好美	佐野 洋一	澤津橋徹哉
塩路 幸生	清水 陽一	白土 英樹	末田 慎二
鈴木 絢子	宗 伸明	高橋 浩司	高橋 幸奈
高橋 政孝	竹中 繁織	手嶋 康介	天日 美薫
富永 昌人	富安 卓滋	鳥羽 陽	中島 常憲
中園 学	中武 貞文	中野 幸二	中村 沙織
中山 研一	新留 康郎	西田 正志	能田 均
能登 征美	馬場 由成	巴山 忠	原口 浩一
原田 雅章	藤井 清永	前田 明広	増田 寿伸
真瀬田幹生	又吉 直子	松井 利郎	松本 篤彦
松本 篤彦	馬渡 和真	水城 圭司	満尾 良弘
三宅 孝彰	村田 正治	森 健	安田みどり
山下 将一	横山さゆり	吉田 亨次	吉田 祐一
吉留 俊史			

②研究発表会

- 1) 第 62 回化学関連支部合同九州大会（共催）：7 月 5 日，北九州国際会議場で開催。依頼講演 8 件，一般講演 569 件が行われた。分析化学の発表件数 38 件の中から優秀ポスター発表 4 件を「九州分析化学ポスター賞」として選出。

③講演会・セミナー

- 1) 第 38 回若手研究講演会および第 43 回夏季セミナー（主催）：7 月 25 日・26 日，対面形式で開催（参加者 96 名）。特別講演 1 件，招待講演 2 件，九州分析化学ポスター賞受賞者による模範ポスター発表 3 件，一般ポスター発表 44 件が行われた。優秀発表 7 件に対して「九州分析化学若手賞」を授賞。
- 2) 九州支部講演会・見学会（主催）：10 月 30 日に佐賀県立九州シンクロトン光研究センターにて講演会（受賞講演ならびに依頼講演）および当センターの見学会を開催。

④講習会

- 1) 第 63 回分析化学講習会（主催）：7 月 29 日，8 月 4 日・5 日：福岡市産学連携交流センター，8 月 5 日・6 日：九州大学馬出キャンパス，8 月 7 日・8 日：九州大学伊都キャンパス，8 月 22 日：福岡大学七隈キャンパスで開催。のべ受講者数 109 名に対して GC，HPLC，ICP-MS，X-ray，SEM/TEM，MR，RAMAN に関する講習を行った。

⑤支部ニュース

- 第 50 号（3 月）を発行。

令和7年度会計報告

貸借対照表

(令和8年2月28日現在)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	132,450,541	130,299,410	2,151,131
売掛金	1,412,400	2,387,550	△ 975,150
未収金	1,902,242	2,095,730	△ 193,488
前払金	7,669,218	2,470,274	5,198,944
棚卸資産	28,520,952	29,328,260	△ 807,308
貯蔵品	35,776	67,970	△ 32,194
一年以内回収予定長期貸付金	0	199,920	△ 199,920
流動資産合計	171,991,129	166,849,114	5,142,015
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	8,104,341	22,867,366	△ 14,763,025
標準物質開発基金	2,065,753	2,061,719	4,034
預り保証金引当預金	5,000,000	5,000,000	0
国際交流事業基金	27,835,808	27,311,754	524,054
分析化学研究奨励基金	17,878,357	17,878,195	162
支部研究懇談会特定預金	44,112,720	44,863,909	△ 751,189
特定資産合計	104,996,979	119,982,943	△ 14,985,964
(3) その他固定資産			
建物	7,441,808	7,792,469	△ 350,661
什器備品	620,219	111,571	508,648
土地	30,607,799	30,607,799	0
電話加入権	28,000	28,000	0
敷金	100,000	100,000	0
長期貸付金	0	528,360	△ 528,360
その他固定資産合計	38,797,826	39,168,199	△ 370,373
固定資産合計	153,794,805	169,151,142	△ 15,356,337
資産合計	325,785,934	336,000,256	-10,214,322
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,516,323	2,264,603	1,251,720
前受金	93,800	701,500	△ 607,700
前受会費	31,183,830	22,356,800	8,827,030
前受購読料	1,416,300	1,488,000	△ 71,700
預り金	7,506,084	1,830,339	5,675,745
仮受金	13,250	13,250	0
賞与引当金	2,485,655	2,268,484	217,171
未払消費税等	0	357,800	△ 357,800
流動負債合計	46,215,242	31,280,776	14,934,466
2. 固定負債			
退職給付引当金	39,378,763	54,031,339	△ 14,652,576
預り保証金	5,000,000	5,000,000	0
固定負債合計	44,378,763	59,031,339	-14,652,576
負債合計	90,594,005	90,312,115	281,890
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	235,191,929	245,688,141	△ 10,496,212
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	91,892,638	92,115,577	△ 222,939
正味財産合計	235,191,929	245,688,141	△ 10,496,212
負債及び正味財産合計	325,785,934	336,000,256	△ 10,214,322

正味財産増減計算書

(令和7年3月1日～令和8年2月28日)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	100	200	△ 100
基本財産受取利息	100	200	△ 100
特定資産運用益	587,180	33,316	553,864
退職給付引当資産	6,075	12,474	△ 6,399
標準物質開発基金	4,034	1,246	2,788
国際交流事業基金	284,466	11,921	272,545
分析化学研究奨励基金	239,750	695	239,055
預り保証金引当預金	1,250	0	1,250
支部研究懇談会特定預金	51,605	6,980	44,625
受取入会金	141,500	151,000	△ 9,500
受取入会金	141,500	151,000	△ 9,500
受取会費	68,513,750	74,597,350	△ 6,083,600
正会員会費	22,826,000	23,160,000	△ 334,000
学生会員会費	2,144,000	2,217,750	△ 73,750
維持会員会費	14,403,900	14,643,300	△ 239,400
特別会員会費	13,890,000	14,377,500	△ 487,500
公益会員会費	7,091,350	10,636,800	△ 3,545,450
支部研究懇談会会費	6,647,000	7,006,000	△ 359,000
シニア会員会費	1,511,500	2,556,000	△ 1,044,500
事業収益	121,096,507	109,281,087	11,815,420
購読料収入	4,282,608	4,430,805	△ 148,197
年会収入	41,748,676	18,682,342	23,066,334
討論会収入	10,618,500	20,860,500	△ 10,242,000
講演会収入	9,619,926	10,179,318	△ 559,392
講習会収入	13,549,110	12,298,720	1,250,390
研究懇談会収入	291,900	340,900	△ 49,000
技能試験収入	2,755,500	2,431,000	324,500
分析士事業収入	4,397,400	4,050,480	346,920
印税収入	362,793	704,389	△ 341,596
教材頒布収入	53,900	88,000	△ 34,100
標準物質収入	14,372,030	16,679,960	△ 2,307,930
広告料収入	12,595,270	12,677,235	△ 81,965
別刷頒布掲載料等収入	5,589,265	4,932,280	656,985
複写権使用料収入	859,629	925,158	△ 65,529
受取補助金等	1,743,500	2,517,000	△ 773,500
受取民間補助金	1,693,500	2,467,000	△ 773,500
受取自治体補助金	50,000	50,000	0
受取寄附金	190,000	26,000	164,000
受取寄附金	190,000	26,000	164,000
雑収益	1,044,715	695,285	349,430
受取利息	212,974	72,829	140,145
雑収益	831,741	622,456	209,285
経常収益計	193,317,252	187,301,238	6,016,014
(2)経常費用			
事業費	169,487,225	152,397,226	17,089,999
給料手当	30,962,174	32,000,443	△ 1,038,269
臨時雇賃金	3,850,060	6,498,299	△ 2,648,239
退職給付費用	3,082,061	3,082,427	△ 366
法定福利費	5,458,046	5,034,610	423,436
会議費	24,019,304	24,289,878	△ 270,574
旅費交通費	9,315,729	8,129,491	1,186,238
通信運搬費	2,453,370	992,385	1,460,985
減価償却費	452,661	597,206	△ 144,545
消耗品費	2,191,144	2,121,819	69,325
修繕費	1,643,124	1,330,560	312,564
印刷製本費	21,240,412	17,360,450	3,879,962
光熱水料費	248,303	191,503	56,800
賃借料	12,626,414	12,013,705	612,709
支払リース料	80,113	105,600	△ 25,487
支払保険料	14,065	2,510	11,555

正味財産増減計算書

(令和7年3月1日～令和8年2月28日)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
諸謝金	6,872,033	4,773,727	2,098,306
租税公課	1,128,850	2,229,400	△ 1,100,550
支払負担金	554,328	538,679	15,649
支払助成金	1,913,314	580,000	1,333,314
委託費	37,215,332	31,094,400	6,120,932
表彰費	2,660,815	2,295,783	365,032
支払手数料	1,035,571	0	1,035,571
雑費	470,002	821,225	△ 351,223
管理費	34,326,239	30,249,836	4,076,403
役員報酬	3,445,000	0	3,445,000
給料手当	7,740,543	7,564,347	176,196
臨時雇賃金	0	879,247	△ 879,247
退職給付費用	2,091,359	1,841,578	249,781
法定福利費	1,364,511	2,583,054	△ 1,218,543
福利厚生費	74,915	30,095	44,820
会議費	60,467	92,217	△ 31,750
旅費交通費	2,328,932	1,138,620	1,190,312
通信運搬費	613,342	1,636,375	△ 1,023,033
減価償却費	150,262	22,031	128,231
消耗品費	608,349	242,658	365,691
修繕費	410,781	332,640	78,141
印刷製本費	22,000	0	22,000
光熱水料費	62,076	56,324	5,752
賃借料	296,648	89,716	206,932
支払リース料	6,231,834	5,583,711	648,123
租税公課	4,450	1,700	2,750
支払負担金	1,145,218	922,892	222,326
委託費	7,159,997	6,492,789	667,208
支払手数料	442,035	0	442,035
雑費	73,520	739,842	△ 666,322
経常費用計	203,813,464	186,333,936	17,479,528
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,496,212	967,302	△ 11,463,514
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 10,496,212	967,302	△ 11,463,514
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,496,212	967,302	△ 11,463,514
一般正味財産期首残高	245,688,141	244,720,839	967,302
一般正味財産期末残高	235,191,929	245,688,141	△ 10,496,212
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	235,191,929	245,688,141	△ 10,496,212

正味財産増減計算書内訳表

(令和7年3月1日～令和8年2月28日)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用益	0	100	0	100
基本財産受取利息	0	100	0	100
特定資産運用益	575,821	11,359	0	587,180
退職給付引当資産	0	6,075	0	6,075
標準物質開発基金	0	4,034	0	4,034
国際交流事業基金	284,466	0	0	284,466
分析化学研究奨励基金	239,750	0	0	239,750
預り保証金引当預金	0	1,250	0	1,250
支部研究懇談会特定預金	51,605	0	0	51,605
受取入会金	70,750	70,750	0	141,500
受取会費	37,580,375	30,933,375	0	68,513,750
正会員会費	11,413,000	11,413,000	0	22,826,000
学生会員会費	1,072,000	1,072,000	0	2,144,000
維持会員会費	7,201,950	7,201,950	0	14,403,900
特別会員会費	6,945,000	6,945,000	0	13,890,000
公益会員会費	3,545,675	3,545,675	0	7,091,350
支部研究懇談会会費	6,647,000	0	0	6,647,000
シニア会員会費	755,750	755,750	0	1,511,500
事業収益	121,096,507	0	0	121,096,507
購読料収入	4,282,608	0	0	4,282,608
年会収入	41,748,676	0	0	41,748,676
討論会収入	10,618,500	0	0	10,618,500
講演会収入	9,619,926	0	0	9,619,926
講習会収入	13,549,110	0	0	13,549,110
研究懇談会収入	291,900	0	0	291,900
技能試験収入	2,755,500	0	0	2,755,500
分析士事業収入	4,397,400	0	0	4,397,400
印税収入	362,793	0	0	362,793
教材頒布収入	53,900	0	0	53,900
標準物質頒布収入	14,372,030	0	0	14,372,030
広告料収入	12,595,270	0	0	12,595,270
別刷頒布掲載料等収入	5,589,265	0	0	5,589,265
複写権使用料収入	859,629	0	0	859,629
受取補助金等	1,743,500	0	0	1,743,500
受取民間補助金	1,693,500	0	0	1,693,500
受取自治体補助金	50,000	0	0	50,000
受取寄附金	190,000	0	0	190,000
受取寄附金	190,000	0	0	190,000
雑収益	1,010,731	33,984	0	1,044,715
受取利息	179,040	33,934	0	212,974
雑収益	831,691	50	0	831,741
経常収益計	162,267,684	31,049,568	0	193,317,252
(2)経常費用				
事業費	169,487,225	0	0	169,487,225
給料手当	30,962,174	0	0	30,962,174
臨時雇賃金	3,850,060	0	0	3,850,060
退職給付費用	3,082,061	0	0	3,082,061
法定福利費	5,458,046	0	0	5,458,046
会議費	24,019,304	0	0	24,019,304
旅費交通費	9,315,729	0	0	9,315,729
通信運搬費	2,453,370	0	0	2,453,370
減価償却費	452,661	0	0	452,661
修繕費	1,643,124	0	0	1,643,124
消耗品費	2,191,144	0	0	2,191,144
印刷製本費	21,240,412	0	0	21,240,412
光熱水料費	248,303	0	0	248,303
賃借料	12,626,414	0	0	12,626,414
支払リース料	80,113	0	0	80,113
保険料	14,065	0	0	14,065
諸謝金	6,872,033	0	0	6,872,033

正味財産増減計算書内訳表

(令和7年3月1日～令和8年2月28日)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
租税公課	1,128,850	0	0	1,128,850
支払負担金	554,328	0	0	554,328
支払助成金	1,913,314	0	0	1,913,314
委託費	37,215,332	0	0	37,215,332
表彰費	2,660,815	0	0	2,660,815
支払手数料	1,035,571	0	0	1,035,571
雑費	470,002	0	0	470,002
管理費	0	34,326,239	0	34,326,239
役員報酬	0	3,445,000	0	3,445,000
給料手当	0	7,740,543	0	7,740,543
退職給付費用	0	2,091,359	0	2,091,359
法定福利費	0	1,364,511	0	1,364,511
福利厚生費	0	74,915	0	74,915
会議費	0	60,467	0	60,467
旅費交通費	0	2,328,932	0	2,328,932
通信運搬費	0	613,342	0	613,342
減価償却費	0	150,262	0	150,262
修繕費	0	410,781	0	410,781
消耗品費	0	608,349	0	608,349
印刷製本費	0	22,000	0	22,000
光熱水料費	0	62,076	0	62,076
賃借料	0	296,648	0	296,648
支払リース料	0	6,231,834	0	6,231,834
租税公課	0	4,450	0	4,450
支払負担金	0	1,145,218	0	1,145,218
委託費	0	7,159,997	0	7,159,997
支払手数料	0	442,035	0	442,035
雑費	0	73,520	0	73,520
経常費用計	169,487,225	34,326,239	0	203,813,464
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,219,541	△ 3,276,671	0	△ 10,496,212
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,219,541	△ 3,276,671	0	△ 10,496,212
2.経常外増減の部				
(1)経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 7,219,541	△ 3,276,671		△ 10,496,212
当期一般正味財産増減額	△ 7,219,541	△ 3,276,671	0	△ 10,496,212
一般正味財産期首残高	136,785,752	108,902,389	0	245,688,141
一般正味財産期末残高	129,566,211	105,625,718	0	235,191,929
II 指定正味財産増減の部				0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	129,566,211	105,625,718	0	235,191,929

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1) 満期保有目的有価証券の評価基準及び評価方法

償却原価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物…定額法を採用している。(ただし、平成10年3月以前に取得した建物については定率法を採用している。)

器具備品…定率法を採用している。

無形固定資産

ソフトウェア…定額法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期の負担に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金…職員の退職給与の支給に備えるため、退職金支給規程に基づき期末自己都合要支給額に

相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特 定 資 産				
退職給付引当資産	22,867,366	4,930,080	19,693,105	8,104,341
標準物質開発基金	2,061,719	4,034	0	2,065,753
国際交流事業基金	27,311,754	3,524,054	3,000,000	27,835,808
分析化学研究奨励基金	17,878,195	162	0	17,878,357
預り保証金引当預金	5,000,000	0	0	5,000,000
支部研究懇談会特定預金	44,863,909	63,925	815,114	44,112,720
小 計	119,982,943	8,522,255	23,508,219	104,996,979
合 計	129,982,943	8,522,255	23,508,219	114,996,979

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基 本 財 産				
定期預金	10,000,000	—	(10,000,000)	—
小 計	10,000,000	—	(10,000,000)	—
特 定 資 産				
退職給付引当資産	8,104,341	—	—	(8,104,341)
標準物質開発基金	2,065,753	—	(2,065,753)	—
国際交流事業基金	27,835,808	—	(27,835,808)	—
分析化学研究奨励基金	17,878,357	—	(17,878,357)	—
預り保証金引当預金	5,000,000	—	—	(5,000,000)
支部研究懇談会特定預金	44,112,720	—	(44,112,720)	—
小 計	104,996,979	—	(91,892,638)	(13,104,341)
合 計	114,996,979	—	(101,892,638)	(13,104,341)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建物	57,522,500	50,080,692	7,441,808
器具備品	6,769,815	6,149,596	620,219
ソフトウェア	1,204,200	1,204,200	0
合 計	65,496,515	57,434,488	8,062,027

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

銘 柄	取得価額	期末日時価	評価損益
SBIホールディングス株式会社 第39回無担保社債	37,800,000	37,104,480	△ 695,520
合 計	37,800,000	37,104,480	△ 695,520

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
自治体補助金	高山市	0	50,000	0	50,000	-
民間補助金	(一社)日本分析機器工業会等	0	1,693,500	0	1,693,500	-
合 計		0	1,743,500	0	1,743,500	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

当期において、指定正味財産から一般正味財産への振替はありません。

付 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記 3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載をしているため、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	そ の 他	
賞与引当金	2,268,484	2,485,655	2,268,484	0	2,485,655
退職給付引当金	54,031,339	4,923,420	19,575,996	0	39,378,763

財 産 目 録

(令和8年2月28日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金預金			132,450,541
	現金		672,155
	手元保管(本部預金)	運転資金として	44,340
	手元保管(支部/研究懇談会預金)	運転資金として	627,815
	普通預金		28,341,110
	三井住友銀行五反田支店	本部	16,461,142
	三井住友銀行五反田支店	本部講習会口	213,028
	三井住友銀行新宿通支店	本部	2,527,086
	三井住友銀行五反田支店	本部分析士口	204,019
	みずほ銀行五反田支店	本部	1,950,943
	三井住友信託銀行芝営業部	本部	173,640
	山陰合同銀行島大前支店	若手交流会	55,029
	GMOあおぞらネット銀行		
	法人第二営業部	第75年会	1,955,576
	GMOあおぞらネット銀行		
	法人第二営業部	第86回分析化学討論会実行委員会	2,808,235
	GMOあおぞらネット銀行		
	法人第二営業部	第87回分析化学討論会実行委員会	1,992,028
	GMOあおぞらネット銀行		
	法人第二営業部	アジア分析科学会議	384
	支部/普通預金		41,624,748
	北洋銀行本店営業部	北海道支部	5,607,662
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部	6,105,736
	みずほ銀行五反田支店	関東支部	2,593,737
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	5,061,735
	三井住友銀行名古屋支店	中部支部	2,871,973
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	5,544,037
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部近畿分析技術研究懇話会	3,665,573
	広島銀行西条支店	中国四国支部	10,174,295
	研究懇談会/普通預金		40,158,327
	みずほ銀行南大沢支店	環境分析研究懇談会	513,454
	武蔵野銀行みずほ台支店	有機微量分析研究懇談会	3,440,166
	りそな銀行五反田支店	ガスクロマトグラフィー研究懇談会	1,485,987
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	10,369,122
	りそな銀行五反田支店	高分子分析討論会	6,173,165
	七十七銀行本店営業部	分析試薬研究懇談会	587,273
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	3,421,782
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	8,259,734
	GMOあおぞらネット銀行		
	法人第二営業部	液体クロマトグラフィー研究懇談会	645,643
	十六銀行黒野支店	電気泳動分析研究懇談会	775,002
	荘内銀行宝田支店	電気泳動分析研究懇談会	298,302
	四国銀行朝倉支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	2,792,871
	肥後銀行子飼橋支店	フローインジェクション分析研究懇談会	189,670
	三菱UFJ銀行平塚支店	熱分析研究懇談会	526,909
	足利銀行宇都宮東支店	化学分析技能研究懇談会	138,349
	みなと銀行龍野支店	電気分析化学研究懇談会	28,822
	みずほ銀行渋谷中央支店	バイオ分析研究懇談会	141,666
	三菱UFJ銀行上野支店	スクリーニング分析研究懇談会	370,410
	ゆうちょ銀行(通常貯金)		13,585,097
	ゆうちょ銀行(通常貯金)	近畿支部	1,138,139
	ゆうちょ銀行(通常貯金)	九州支部	8,483,420
	ゆうちょ銀行(通常貯金)	溶液反応化学研究懇談会	61,363
	ゆうちょ銀行(通常貯金)	有機微量分析研究懇談会	2,977,533
	ゆうちょ銀行(通常貯金)	X線分析研究懇談会	546,287
	ゆうちょ銀行(通常貯金)	化学センサー研究懇談会	131,433
	ゆうちょ銀行(通常貯金)	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	20,030
	ゆうちょ銀行(通常貯金)	ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会	226,892
	ゆうちょ銀行(振替口座)		6,262,491
	ゆうちょ銀行(振替口座)	運営資金として	1,608,368
	ゆうちょ銀行(振替口座)	環境分析研究懇談会	695,287

財 産 目 録

(令和8年2月28日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
	ゆうちょ銀行(振替口座)	有機微量分析研究懇談会	23,356
	ゆうちょ銀行(振替口座)	X線分析研究懇談会	614,242
	ゆうちょ銀行(振替口座)	フローインジェクション分析研究懇談会	980,907
	ゆうちょ銀行(振替口座)	表示・起源分析技術研究懇談会	2,340,331
	定期預金		1,806,613
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	506,613
	広島銀行西条支店	中国四国支部	1,300,000
売掛金	標準物質, 教育 DVD	公益目的事業での販売商品に対する未収額	1,412,400
未収入金	広告料, 雑誌	公益目的事業で発行している雑誌の別刷印刷	1,902,242
前払金	討論会・年会実行委員会他		7,669,218
	討論会	第86回分析化学討論会, 第87回分析化学討論会	2,000,000
	年会	第75年会	4,000,000
	その他	業者委託費	1,669,218
棚卸資産	会誌/標準物質/教育DVD/分析士解説書	公益目的事業で販売している商品	28,520,952
	標準物質		23,396,495
	DVD		1,829,400
	分析士解説書		3,286,900
	その他		8,157
貯蔵品	切手, 印紙, はがき等	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	35,776
流動資産合計			171,991,129
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	運用益を管理費の財源として使用	10,000,000
特定資産			
退職給付引当資産		職員の退職金の支払いのために使用	8,104,341
普通預金	みずほ銀行五反田支店		2,104,341
普通預金	大和ネクスト銀行石神井公園営業所		6,000,000
標準物質開発基金		標準物質開発事業の積立資産であり,	2,065,753
普通預金	三井住友銀行五反田支店	運用益を本事業の財源として使用	2,065,753
預り保証金引当預金		会誌広告で(株)明報社から受け入れた預金	5,000,000
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	であり, 運用益を本事業の財源として使用	5,000,000
国際交流事業基金		公益目的保有財産であり, 運用益を国際	27,835,808
普通預金	三井住友銀行五反田支店	交流事業の財源として使用	7,835,808
社債	SBIホールディングス	第39回無担保社債	20,000,000
分析化学研究奨励基金		公益目的保有財産であり, 運用益を研究の奨	17,878,357
普通預金	大和ネクスト銀行	励及び研究業績の表彰事業の財源として使用	78,357
社債	SBIホールディングス	第39回無担保社債	17,800,000
普通預金	大和ネクスト銀行		78,195
支部研究懇談会特定預金			44,112,720
普通預金			11,671,234
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部企画基金	1,500,686
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部活性化基金	3,025,310
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	191,113
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	1,553,044
	四国銀行朝倉支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,626,149
	三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会国際会議	3,436,618
	三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会技術論文	338,314
定期預金			32,441,486
	みずほ銀行五反田支店	関東支部	11,665,443
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	13,039,352
	ゆうちょ銀行	X線分析研究懇談会	3,329,633
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	4,407,058
その他			
固定資産			
建物	220.4 m ²	法人の管理業務で使用	7,441,808
器具備品	東京都品川区西五反田		
	東京都品川区西五反田	主たる事務所で保有し, 公益目的事業及び	620,219
		法人の管理業務で使用	
土地	30.22 m ²	主たる事務所 公益目的事業及び法人の	30,607,799
	東京都品川区西五反田	管理業務で使用している	
電話加入権	3490-3351 他 6 本	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	28,000
敷金	近畿支部	入居している大阪科学センターに対する敷金	100,000

財 産 目 録

(令和8年2月28日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
固定資産合計				153,794,805
資産合計				325,785,934
(流動負債)				
	未払金	いであ他	標準物質管理業務に対する未払額など	3,516,323
	前受会費	翌年度の会費の前受額	会員からの翌年度分の会費の前受額	31,183,830
	前受金	高分子分析研究懇談会他	翌年度実施技術講習会の前受額	93,800
	前受購読料	翌年度購読料の前受額	公益目的事業で発行する雑誌購読料の前受額	1,416,300
	預り金	所得税 社会保険料等		7,506,084
		健康保険料		147,635
		厚生年金保険料		257,115
		源泉所得税		193,187
		住民税		148,600
		労働保険料		2,324
		討論会	第86回分析化学討論会, 第87回分析化学討論会	4,800,647
		年会	第75年会	1,955,576
		その他		1,000
	仮受金			13,250
	賞与引当金	職員の夏期賞与	職員の夏期賞与の支払いに備えたもの	2,485,655
流動負債合計				46,215,242
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員の退職金	職員の退職金の支払いに備えたもの	39,378,763
	預り保証金	(株)明報社	会誌広告に関して受け入れたもの	5,000,000
固定負債合計				44,378,763
負債合計				90,594,005
正 味 財 産				235,191,929

貸 借 対 照 表 内 訳 表

(令和8年2月28日現在)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	17,305,018	115,145,523	0	132,450,541
売掛金	1,412,400	0	0	1,412,400
未収入金	1,902,242	9,605,276	△ 9,605,276	1,902,242
前払金	7,669,218	0	0	7,669,218
棚卸資産	28,520,952	0	0	28,520,952
貯蔵品	17,588	18,188	0	35,776
流動資産合計	56,827,418	124,768,987	△ 9,605,276	171,991,129
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金(一般)	0	10,000,000	0	10,000,000
基本財産合計	0	10,000,000	0	10,000,000
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	0	8,104,341	0	8,104,341
標準物質開発基金	0	2,065,753	0	2,065,753
預り保証金引当預金	0	5,000,000	0	5,000,000
国際交流事業基金	27,835,808	0	0	27,835,808
分析化学研究奨励基金	17,878,357	0	0	17,878,357
支部研究懇談会特定預金	44,112,720	0	0	44,112,720
特定資産合計	89,826,885	15,170,094	0	104,996,979
(3) その他固定資産				
建物	6,848,386	593,422	0	7,441,808
器具備品	103,322	516,897	0	620,219
土地	29,513,936	1,093,863	0	30,607,799
電話加入権	26,320	1,680	0	28,000
敷金	94,000	6,000	0	100,000
その他固定資産合計	36,585,964	2,211,862	0	38,797,826
固定資産合計	126,412,849	27,381,956	0	153,794,805
資産合計	183,240,267	152,150,943	△ 9,605,276	325,785,934
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	12,453,095	668,504	△ 9,605,276	3,516,323
前受金	93,800	0	0	93,800
前受会費	242,000	30,941,830	0	31,183,830
前受購読料	1,416,300	0	0	1,416,300
預り金	6,756,223	749,861	0	7,506,084
仮受金	13,250	0	0	13,250
賞与引当金	1,988,524	497,131	0	2,485,655
未払消費税等	0	0	0	0
流動負債合計	22,963,192	32,857,326	△ 9,605,276	46,215,242
2. 固定負債				
退職給付引当金	25,710,864	13,667,899	0	39,378,763
預り保証金	5,000,000	0	0	5,000,000
固定負債合計	30,710,864	13,667,899	0	44,378,763
負債合計	53,674,056	46,525,225	△ 9,605,276	90,594,005
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産	0	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0	0
2. 一般正味財産	129,566,211	105,625,718	0	235,191,929
(うち特定資産への充当額)	89,826,885	2,065,753	0	91,892,638
正味財産合計	129,566,211	105,625,718	0	235,191,929
負債及び正味財産合計	183,240,267	152,150,943	△ 9,605,276	325,785,934

監 事 監 査 報 告 書

公益社団法人日本分析化学会

会長 山本 博之 殿

令和 8 年 3 月 26 日

公益社団法人日本分析化学会

監事 長谷川 健 

監事 安田 純子 

私たち監事は、公益社団法人日本分析化学会の令和 7 年 3 月 1 日から令和 8 年 2 月 28 日までの令和 7 年度の監査を日本分析化学会監事監査規程に基づき実施しましたので、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、日本分析化学会監事監査規程第 7 条に定める監査事項について、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人から業務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、令和 7 年度事業報告を受領し、さらに、計算書類（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記）及び附属明細書並びに財産目録を受領し、これらの書類について監査しました。

2. 監査結果

- 一、事業報告は、法令及び定款に従い、当公益社団法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- 三、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、当公益社団法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- 四、引き続き財政状況を注視するとともに、綿密な会員管理と会員（個人・団体）の減少を抑制する対策に引き続き実行することを望みたい。

以上

2026 年度（令和 8 年度）事業計画書

（令和 8 年 3 月 1 日～令和 9 年 2 月 28 日）

1. 定時総会の開催（定款第 17 条）

第 15 回定時総会を下記のとおり行う。

日時 令和 8 年 4 月 24 日（金）14 時より

場所 Web 会議

参加予定者数 114 人。

2. 会誌、研究報告および資料の刊行（定款第 5 条（1））

①学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行する。

2026 年第 3 号～2027 年第 2 号 毎月 1 回，5 日に発行（各号 A4 判，100 ページ）。電子版発行（すべての団体会員と個人会員の希望者には冊子体発行）

②和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行する。

第 75 巻第 3 号～第 12 号を 7 回，および第 76 巻第 1 号と 2 号の合併号を 2027 年 1 月に，それぞれ 5 日に発行（各号 A4 判，90 ページ）発行部数 1,800

③英文論文誌「Analytical Sciences」を Springer Nature 社から下記のとおり発行する。

Vol. 42 No. 3～Vol. 43 No. 2 を毎月 1 回，電子版にて発行する。また，メールマガジンを毎月 1 回発信する。第 86 回分析化学討論会ならびに第 75 年会においてブースを出展し，広報活動を行う。

④学会，ぶんせき，分析化学，Anal. Sci. 4 種のメールマガジンを発行する。

3. 講演会および研究会の開催（定款第 5 条（2））

各支部ならびに研究懇談会が主催するものは別に記載する。

〔研究発表会〕

①第 86 回分析化学討論会を下記のとおり行う。

日時 令和 8 年 5 月 30 日（土）・31 日（日）

場所 久留米シティプラザ 参加予定者数 700 人

②第 75 年会を下記のとおり行う。

日時 令和 8 年 9 月 15 日（火）～17 日（木）

場所 東北大学 参加予定者数 1,000 人

③交流の輪を広げる分析イノベーションフォーラムを行う：

ものづくり技術交流会 2026 in 九州（2026 年 5 月），交流の輪を広げる分析イノベーションフォーラム（2026 年 9 月），分析イノベーション交流会（2026 年 12 月または 2027 年 1 月）

4. 調査、研究および建議（定款第 5 条（3））

〔技能試験〕参加予定試験所数：合計 50 試験所

①ダイオキシン類分析用模擬排水試料による約 50 機関参加の技能試験

②KMTL エッジテック社との共催による技能試験

〔標準物質〕

①西進商事を代理店とした標準物質の頒布

②日本環境測定分析協会の技能試験に用いる標準物質の頒布

5. 研究の奨励および研究業績の表彰（定款第 5 条（4））

①学会賞，学会功労賞，技術功績賞，奨励賞，有功賞，本部委員会功労賞，「分析化学」論文賞，先端分析技術賞ならびに女性 Analyst 賞を下記のとおり表彰する。

学会賞（3 名以内），学会功労賞（5 名以内），技術功績賞（3 名以内），奨励賞（5 名以内），有功賞（50 名程度），本部委員会功労賞（10 名程度），「分析化学」論文賞（2 編以内），先端分析技術賞（2 名以内），女性 Analyst 賞（2 名以内）

②他機関による表彰および研究助成に対して会員を候補者として推薦する。

6. その他目的を達成するために必要な事業（定款第 5 条（5））

①ホームページ・メールマガジンによる会員への情報発信を強化する。

②本会の広報活動として，各種展示，分析化学討論会および年会におけるハイライト講演をまとめた冊子「展望とトピックス」の発行および報道関係記者への連絡などを行う。

③若手交流会の活動を次のとおり行う。

・各支部の若手交流会企画に対して共催・支援を行う。
・分析化学討論会および年会において若手ポスター賞選考を行う。

④分析士認証活動については，液体クロマトグラフィー研究懇談会およびイオンクロマトグラフィー研究懇談会の項にて述べる。分析士会を開催して講演会などの活動を行う。

7. 各研究懇談会の事業計画

①有機微量分析研究懇談会

第 93 回有機微量分析研究懇談会と第 131 回計測自動制御学会・力学量計測部会の第 43 回合同シンポジウムを 2026 年 6 月 26 日・27 日に香川県高松市（徳島文理大学）で開催する。講演会（第 75 年会会期中），委員会（2 回），マイクロ電子天びん技術研修会（座学と実技 1 回），マイクロ電子天びんオンラインセミナー（座学 1 回）を開催するほか会報 28 号を（2027 年 2 月）を発行する。ホームページを順次更新し，内容の充実を図る。また，標準試料検定小委員会において標準試料の検定作業を行う。

②ガスクロマトグラフィー研究懇談会

講演会を 3 回（6 月，11 月，2 月），見学会，講習会（実習付含む）を開催する。6 月の講演会では基礎講座を開催する。年会では特別講演会を開催する。GC 研究会開催 400 回記念事業として表彰，特別講演などの企画を進める。運営委員会を Web 併用して開催する。

③高分子分析研究懇談会

全 5 回の例会（内 1 回は夏季合宿）および講習会（前期：基礎編，後期：実践編），第 31 回高分子分析討論会を 11 月 5 日（木）・6 日（金）にウイנקあいちにて実施する予定である。

④X 線分析研究懇談会

学会誌「X 線分析の進歩」33～38 集（2002～2007 年）の J-STAGE 掲載費用（過去に遡る学会誌の J-STAGE 掲載は 33 集までとする）。X 線分析討論会（島根）を開催する。第 23 回 X 線分析講習会（テーマ「蛍光 X 線分析の実際」）を開催する。

⑤分析試薬研究懇談会

第 75 年会・懇談会主催特別シンポジウムを開催する。第 24 回ホスト・ゲスト・超分子化学シンポジウム（協賛）を開催する。

⑥液体クロマトグラフィー研究懇談会

前年度の事業を継続することに加えて，『LC & LC/MS 事典』（仮称）の発行を目指す。

⑦化学センサー研究懇談会

第 75 年会にて，化学センサー研究懇談会講演および懇談会委員会を実施予定。

⑧電気泳動分析研究懇談会

第 75 年会において研究懇談会講演を行う。第 46 回キャピラリー電気泳動シンポジウムを共催する。寺部賞の募集を行う。

⑨イオンクロマトグラフィー研究懇談会

2026 年 9 月運営委員会，2026 年 12 月 8 日～12 日学会開催：24th International conference on Flow Injection Analysis and Related Techniques @ Kumamoto, IC 分析士開催（初段・二段）。

⑩フローインジェクション分析研究懇談会

2026 年度から論文誌の発行を年に 1 回 12 月とすることを決定している。トラベルサポートによる学生の支援を継続する。また，12 月に国際会議である ICFIA を熊本にて開催する。本学会の準備のため，積立金を取り崩す予定である。

⑪環境分析研究懇談会

年会会期中での講演会および実行委員会の開催。日本学術会議の環境工学連合委員会主催の講演会の企画運営。他の学会との講演会の共催。

⑫表示・起源分析技術研究懇談会

講演会を 3 回（第 75 年会会期中および年度前半・後半），運営委員会を 2 回開催する。また，必要に応じ他研究会とのジョイント講演会を開催する。

⑬化学分析技能研究懇談会

懇談会講演会を 2 回（年会会期中および 6 月または 12 月），運営委員会を 1 回（年会会期中）開催する。ニュースレター

を年3～4回発行して、化学分析技能の持つ課題や技術情報を共有する。

⑭熱分析研究懇談会

討論会開催、分析化学特集号発行、運営委員会開催。

⑮溶液反応化学研究懇談会

第75年会で、講演会および運営委員会を開催する。

⑯電気分析化学研究懇談会

久留米で開催予定の第86回分析化学討論会では、主題討論の公募がないため、研究懇談会としての活動予定はない。秋の第75年会で、テーマを決めて学会会員2名、学会外2名による依頼講演を実施予定である。

⑰ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会

第75年會にて、ナノ・マイクロ分析化学研究懇談会講演を開催する。

⑱バイオ分析化学研究懇談会

本研究懇談会は、バイオ分析化学の研究者間での情報交換や交流、共同研究の促進などを目的とする。2026年9月に第75年會での研究懇談会講演を企画する。また、運営委員会をさらに拡充・充実させるとともに、ホームページなどでバイオ分析研究懇談会をアピールして会員増強を図る。8月頃には、研究懇談会役員メンバーで立ち上げる別組織の主催行事として「夏の合同セミナー」を開催する。研究懇談会は共催の立場を取り、引き続きサポートを行うことを予定している。

⑲スクリーニング分析研究懇談会

年會での研究懇談会講演を含む年2回程度の講演会を予定する。

8. 各支部の事業計画

定款第5条の事業を次のとおり行う。

【北海道支部】

- ①支部幹事会を開催する：4月と10月、2月にWebもしくはハイブリッド。
- ②支部ニュース：夏と冬の2回発行
- ③支部主催行事：6月に緑陰セミナー、10月頃に公開セミナー、1月に冰雪セミナーを開催する。
- ④支部共催行事：7月に日本化学会北海道支部夏季研究発表会、11月に北海道地区化学教育研究協議会、1月に北海道地区化学系学協会北海道支部冬季研究発表会をそれぞれ開催する。

【東北支部】

- ①【主催事業】第1回東北支部役員会、第2回東北支部役員会、第3回東北支部役員会、分離機能とセンシング機能の化学セミナー2026、令和8年度日本分析化学会東北支部若手セミナー、みちのく分析科学シンポジウム
- ②【共催事業】第43回無機・分析化学コロキウム、令和8年度化学系学協会東北大会
- ③【表彰事業】令和8年度日本分析化学会東北支部助成金、令和8年度日本分析化学会東北支部各賞

【関東支部】

- ①若手の会を11月に開催する予定である。その際、運営のための支援を強化する。
- ②新潟、千葉、茨城、群馬・栃木地区などで研究会、分析技術交流会を開催する。
- ③分析化学の基本と安全セミナー、分析化学基礎セミナー、分析化学基礎実習を実施する。
- ④新世紀賞、新世紀新人賞の表彰事業を実施する。

【中部支部】

講演会（3区域）、第43回分析化学中部夏期セミナー、「分析中部・ゆめ21」若手交流会第26回高山フォーラムを開催し、共催事業として第57回中部化学関係学協会支部連合秋季大会を実施する予定。

【近畿支部】

- ①若手育成事業として、“若手夏季セミナー”および“近畿分析技術研究国際交流助成”を実施する予定です。また“近畿分析技術研究奨励賞”の選定を行う予定。
- ②会員サービスおよび会員拡充を目的として、“ぶんせき講習会基礎編その1”・“ぶんせき講習会基礎編その2”・“ぶんせき講習会実践編”・“提案公募型セミナー”を実施する予定。

【中国四国支部】

- ①3月支部幹事会・支部分析化学講演会（会場未定）、支部分析

化学若手セミナー（広島を予定・日時未定）、8月常任幹事会（会場未定）、11月学会賞候補者推薦委員会（会場未定）、11月支部幹事会（会場未定）をそれぞれ開催する。

- ②研究発表会等の共催・協賛・賛助、地区講演会（広島、山口・山陽小野田宇部、鳥取、島根、徳島、香川、愛媛、高知）、外国人学者講演会、支部若手セミナーでの支部長賞の表彰を実施する。

【九州支部】

第86回分析化学討論会、第39回若手研究講演会および第44回夏季セミナー若手の会（（大分）講演会、支部奨励賞受賞講演、一般講演）、第64回分析化学講習会、幹事会、常任幹事会、講演会（九州支部学会賞受賞講演、招待講演）、九電産業施設見学会を開催する。

令和8年度予算書

(令和8年3月1日～令和9年2月28日)

(単位:円)

科 目	令和8年度予算額(税込)	令和7年度予算額(税込)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,000	3,000	0
基本財産受取利息	3,000	3,000	0
特定資産運用益	551,000	550,000	1,000
退職給付引当資産	0	0	0
標準物質開発基金	0	0	0
国際交流事業基金	100,000	100,000	0
分析化学研究奨励基金	400,000	400,000	0
預り保証金引当預金	50,000	50,000	0
支部研究懇談会特定預金	1,000	0	1,000
受取入会金	185,000	185,000	0
受取入会金	185,000	185,000	0
受取会費	81,495,000	71,273,000	10,222,000
正会員会費	28,600,000	24,000,000	4,600,000
学生会員会費	2,750,000	2,200,000	550,000
維持会員会費	15,200,000	14,600,000	600,000
特別会員会費	18,400,000	14,300,000	4,100,000
公益会員会費	9,360,000	9,000,000	360,000
シニア会員会費	600,000	600,000	0
支部研究懇談会会費	6,585,000	6,573,000	12,000
事業収益	114,318,000	117,348,800	△ 3,030,800
購読料収入	4,600,000	4,300,000	300,000
年会収入	17,785,000	19,500,000	△ 1,715,000
討論会収入	11,100,000	13,725,900	△ 2,625,900
講演会収入/講習会収入(含む支部/研究懇談会主催討論会・若手の会収入)	32,609,000	21,985,000	10,624,000
Asianalysis 参加登録料他収入	0	14,000,000	△ 14,000,000
技能試験/分析士事業収入	6,540,000	3,849,500	2,690,500
印税収入	380,000	602,000	△ 222,000
教材頒布収入	50,000	429,000	△ 379,000
標準物質収入	18,717,000	17,658,400	1,058,600
広告料収入	14,949,000	15,290,000	△ 341,000
別刷頒布収入	6,588,000	5,009,000	1,579,000
複写権使用料収入	1,000,000	1,000,000	0
受取補助金等	4,570,000	1,430,000	3,140,000
受取補助金等	4,570,000	1,430,000	3,140,000
雑収益	749,000	990,892	△ 241,892
雑収入	749,000	990,892	△ 241,892
経常収益計	201,871,000	191,780,692	10,090,308
(2) 経常費用			
事業費	151,984,000	154,178,692	△ 2,194,692
給与手当	26,000,000	25,620,000	380,000
臨時雇賃金	5,685,000	5,451,000	234,000
退職給付費用	0	0	0
法定福利費	4,450,000	5,124,000	△ 674,000
会議費	22,336,000	18,551,335	3,784,665
旅費交通費	11,327,000	11,116,000	211,000
通信運搬費	1,299,000	3,406,726	△ 2,107,726
減価償却費	112,000	650,000	△ 538,000
修繕費	100,000	1,300,000	△ 1,200,000
消耗品費	3,750,000	2,597,500	1,152,500
印刷製本費	19,872,000	18,691,000	1,181,000
光熱水料費	3,000	200,000	△ 197,000
賃借料	16,389,000	14,108,000	2,281,000
支払リース料	361,000	0	361,000
支払保険料	0	0	0
諸謝金	6,143,000	5,373,074	769,926
租税公課	66,000	4,143,000	△ 4,077,000
支払負担金	487,000	385,000	102,000
支払助成金	2,460,000	4,810,000	△ 2,350,000

令和8年度予算書

(令和8年3月1日～令和9年2月28日)

(単位:円)

科 目	令和8年度予算額(税込)	令和7年度予算額(税込)	増 減
委託費	27,393,000	29,285,757	△ 1,892,757
表彰費	2,510,000	2,886,650	△ 376,650
雑費	741,000	479,650	261,350
記念事業費	500,000	0	500,000
管 理 費	48,756,000	37,602,000	11,154,000
役員報酬	3,600,000	0	3,600,000
給与手当	13,000,000	12,810,000	190,000
臨時雇賃金	1,890,000	3,288,000	△ 1,398,000
退職給付費用	2,000,000	1,700,000	300,000
法定福利費	2,224,000	2,562,000	△ 338,000
福利厚生費	50,000	50,000	0
会議費	100,000	100,000	0
旅費交通費	3,000,000	1,000,000	2,000,000
通信運搬費	2,000,000	900,000	1,100,000
減価償却費	530,000	0	530,000
修繕費	400,000	1,400,000	△ 1,000,000
消耗品費	2,500,000	300,000	2,200,000
印刷製本費	250,000	0	250,000
光熱水料費	250,000	50,000	200,000
賃借料	6,200,000	80,000	6,120,000
支払リース料	10,000	5,600,000	△ 5,590,000
諸謝金・租税公課	2,000	12,000	△ 10,000
支払負担金	1,000,000	1,000,000	0
委託費	9,000,000	6,000,000	3,000,000
雑費	250,000	750,000	△ 500,000
会長企画戦略経費	500,000	0	500,000
経 常 費 用 計	200,740,000	191,780,692	8,959,308
評価損益調整前当期増減額	1,131,000	0	1,131,000